

# クラブ競技規則

- この規則の運用に関する一切の事項は競技委員会が決定する。
- 当クラブが主催する諸競技は、J.G.Aの競技規則・本競技規則及びクラブローカルルールによって行われる。当クラブのハンディキャップを取得していないものは、競技に参加出来ない。但しオープンコンペはその限りではない。
- 出場競技者が8名に達しない場合は、競技不成立となる。但し、競技委員会が認めた場合はその限りではない。
- 月例チャンピオンシップの参加資格は、月例杯A・Bクラスの上位3名、各月月例杯のポイント上位者及び三大競技の優勝者とする。
- スクラッチ選手権、クラブ選手権の参加資格は、当クラブハンディキャップ14.0までとする。クラブ選手権の予選はストロークプレーとし準々決勝、準決勝、決勝はマッチプレーにて順位を決定する。又スクラッチ選手権は予選及び決勝ともストロークプレーとし、合計スコアにて順位を決定する。
- 理事長杯の参加資格はJGAハンディキャップ36.0までとする。但しハンディキャップ14.1を越える競技参加者についてもハンディキャップは14.0とする。理事長杯は予選及び決勝ともストロークプレーとし、合計スコアにて順位を決定する。
- 予選を行う競技において、参加者が12名以上の場合8名、8名～11名の場合は6名をクオリファイとする。

※競技者の成績がタイとなった場合の規定

## (イ) クラブ選手権

- 予選にてタイの場合、競技委員会が決めたホールでサドンデスにより順位を決定する。
- マッチプレーの場合いづれか一方が1アップするまで試合を続行する。

## (ロ) 理事長杯

- 予選においてタイの場合は10に準ずる。
- 決勝において1位にタイが生じた場合、競技委員会が改めて3ホールストロークプレーによって順位を決定する。尚、タイの場合は10に準ずる。

## (ハ) スクラッチ選手権

- 予選においてタイの場合は10に準ずる。
- 決勝において1位にタイが生じた場合、競技委員会が決めたホールでサドンデス方式により順位を決定する。

- ハンディキャップが36を越える競技参加者についてもハンディキャップは36とする。
- 競技者は、競技終了後遅滞なく同伴競技者のアテストした正規のカードを提出しなければならない。月例杯、月例チャンピオンシップ、理事長杯、スクラッチ選手権、クラブ選手権に限り、距離計測機を含むすべての機器を使用禁止とする。但しスポンサー杯は使用することができる。
- 競技者の成績がタイとなった場合は、原則としてマッチングスコアカード方式により決定する。
- 競技委員会が競技の実施上差支えがあると認めたときは中止、または日時・種目・方法その他の変更をする事がある。この場合にはその都度クラブ内に提示する。
- 表彰式に於て賞者不在の場合入賞資格を失う事とし繰上げ入賞とする。(但し競技委員が特に認めた場合を除く)
- 競技参加者は競技委員会が特に承認した場合を除き競技に参加しない者を伴うことは出来ない。
- 以上の競技規則については状況によりその都度競技委員会が変更する場合があります、クラブ内掲示にて有効とする。

## 〈付 則〉

### 1. 競技参加取り消しについて

(イ) 競技参加を取り消す場合は競技前日迄に必ずクラブに通知すること。これを怠った時又は遅刻した時は失格とする場合がある。

- (ロ) 無断欠席及び故意にNRの場合は競技委員会が定めた一定期間の競技参加停止となる。

- (ハ) 故意による失格の場合は競技委員会が定めた一定期間の競技参加停止になる。

## 参加申込受付方法

- (イ) 参加申込みは、3ヶ月前の月初めからご予約をお受け致します。
- (ロ) 参加申込みは必ず会員ご本人からいただくことになっております。(間違いやトラブルを避けるためご協力をお願い申し上げます。)

# ハンディキャップ規則

- ハンディキャップを要求する会員は確認署名されたスコアカードを10枚以上ハンディキャップ委員会に提出しなければならない。
- 当コース以外の公認コース・レーティングのあるスコアカードの提出は有効とする。
- 他クラブをホームコースとし日本ゴルフ協会公認ハンディキャップを有する者は、その変更のあったときは直ちに当クラブハンディキャップ委員会に申告しなければならない。その申告がなく当クラブ競技に参加した場合は失格することがある。
- ハンディキャップの有効期限は2年とし、その間にスコアカードの提出が無かった場合ハンディキャップは失効する

# ローカル・ルール

- アウト・オブ・バウンズは白杭、ウォーターハザードは黄杭、ラテラル・ウォーターハザードは赤杭、修理地は青杭又は、白線、白ロープをもって示す。
- エメラルド1番、サファイア3番、9番にてウォーターハザード及びラテラル・ウォーターハザード方面に飛んだ球が紛失した場合は、そこに入ったものと見なす。
- エメラルド7番、8番の間で打った球が、プレーしているホールからOB線を越えて他のホールのコース内に止まった場合もOBとする。
- バンカー内の石は、動かせる障害物とする。
- コース内の電線に球が当たった場合は、打ち直しすることができる。
- コースに設置してある人工の物件、カート道路、防球網、樹木の支柱及び支線、距離表示板、排水溝、マンホール等は、動かせない障害物とする。
- 上記以外のローカル・ルールについては、随時クラブに掲示する。
- 上記のローカル・ルール以外は、すべてJ.G.Aのゴルフ競技規則による。

# エチケット

- プレーヤーはすべての人のために、いつでもプレーを遅らせないよう注意して進行すること。
- プレーヤーがアドレスをしてから打ち終るまでは、他の者は動いたり、声を出したり、球の前またはプレー線上に立たないこと。
- プレーヤーは煙草の吸殻、紙屑などは、コース内に捨てないで、備付けの灰皿、屑籠に捨てること。
- プレーヤーは切り取った芝を直ちに元のところへ置いて踏みつけること。
- 前方の人が球の届く距離外に出るまでは球を打ってはならない。
- 球を捜して容易に見つからないとわかったら、直ちに後続組にパスさせること。(5分間捜してからにしないこと)
- プレーヤーはコースにおいて、先行の組との間に1ホール以上の間隔ができたときは、後続組をパスさせること。
- バンカーで作った穴や足跡は、全部直すこと。
- プレーヤーはクラブ、スパイク、旗竿等でグリーンを傷つけないように注意すること。
- プレーヤーはそのホールのプレーが終了したら、すみやかにグリーンからはなれること。
- サンダル、スリッパ等の履き物、または下着等での入場をしてはならない。
- ビジターを同伴または紹介した会員は、すべての点で必ず責任をもたなければならない。